

平成30年 交通安全年間スローガン

(敬称略)

■ 一般部門A 内閣総理大臣賞 (最優秀作)

【運転者 (同乗者を含む) へ呼びかけるもの】

ぶつかるよ ながら運転 じこのもと

大場 卓生 (静岡県浜松市)

■ 一般部門B 内閣総理大臣賞 (最優秀作)

【歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの】

行けるはず まだ渡れるは もう危険

村岡 孝司 (兵庫県丹波市)

■ こども部門 内閣総理大臣賞 (最優秀作)

【中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの】

自転車は 車といっしょ 左側

小田 友華 (静岡市立長田北小学校)

平成29年中 交通死亡事故発生状況



| 区分 | 年別 | 平成29年 | 平成28年 | 増減数 |
|--------|----|-------|-------|------|
| 死亡事故件数 | | 83件 | 98件 | -15件 |
| 死者数 | | 86人 | 100人 | -14人 |

平成29年中の交通事故死者数は86人で、一昨年より14人減少し、統計が残る昭和29年以降で過去最少となりました。交通事故死亡事故の特徴を見ますと、全死者数のうち高齢者の死者が37人(43.0%)、歩行者や自転車利用者などの交通弱者は41人(47.7%)、飲酒運転は、前年と比べ4件増加の5件でした。

また、四輪乗車中の死者35人中、シートベルト非着用者は20人(非着用率57.1%)で、このうちシートベルトを着用していれば助かった死者は10人と推定されます。



(一財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2018 / 新年号 No.205

発行所

(一財)三重県交通安全協会

三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)

〒514-0004 津市栄町1-954
三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-ankyo.com/>



新年のごあいさつ



(一財)三重県交通安全協会 会長 余野部 克治

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、御家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、三重県交通安全協会の交通安全活動等に深い御理解をいただき、格別の御支援、御協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故情勢であります。死者数、人身事故件数及び負傷者数は前年より減少いたしました。これは、県民の皆様お一人お一人が、交通事故防止に、より一層強い関心を持っていただいたことに加え、交通事故防止に向けて力強く取組まれている関係者の皆様方の多大な御尽力によるものと改めてその御労苦に対して心から感謝申し上げます。

昨年の全国の交通事故死者数は、3,694人(一昨年対比-210人)、三重県の交通事故死者数は、86人で一昨年に比べて14人減少し、統計が残る昭和29年以降最少となりました。

- 昨年中の、交通死亡事故の特徴は
- 65歳以上の高齢者の死者数が全体の4割以上を占めていること
 - 歩行者や自転車利用者など交通弱者の死者が全体の約半数を占めていること
 - 四輪乗車中の死者のうちシートベルト非着用者が約6割を占めていること

などが認められ、依然として厳しい情勢にあります。このような厳しい情勢の中、当協会に課せられた使命は重大で、関係機関・団体と連携し、交通事故防止に直結する各種対策を強力に推進していかねばなりません。喫緊の課題である「高齢者の交通事故防止」対策は、

本年も高齢者の方々の交通安全意識の向上を図るための各種講習会の開催や高齢者宅訪問指導活動を推進し、更には反射材の普及促進をはじめ、街頭啓発、各種イベントなど地域の実情に即した活動を展開していきます。

このほか、幼児・児童に対する交通安全教育、自転車安全利用に関する広報啓発活動、交通弱者の交通事故防止に重点を指向した活動及びシートベルト着用の広報啓発活動なども推進していきます。

また、飲酒運転の根絶を図るため、「三重県飲酒運転0をめざす条例」に基づき、当協会が、従前から推進している「ハンドルキーパー運動」を飲酒運転根絶の県民運動として定着できるよう、引き続き、関係機関・団体及び酒類提供関係者等と連携して推進していきます。

平成30年の三重県交通安全県民運動は、人命の尊重を基本として、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路環境の改善に向けた取組みを推進することにより、悲惨な交通事故を防止し、誰もが住みよい安全で安心な交通社会を実現することを目的としています。

三重県交通安全協会は、この目的に向かって関係機関・団体との連携を一層強化するとともに、県下約4000人のボランティアの方々とともに努力してまいりますので、本年も皆様の一層の御指導、御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年でありますよう、心から御祈念申し上げ新年の御挨拶とさせていただきます。



あなたのやさしさ～交通安全を願って気持ちをカタチに～

私たちと一緒に悲惨な交通事故をなくし、一人でも多くの命を守るための活動をしませんか

★ 運転者会員
3年会費...1,500円 5年会費...2,500円
※ 途中入会の方は、免許の有効期間の残り年数1年当たり500円となります。

★ 賛助会員
当協会の活動に賛同し、ご支援いただいている事業所・団体及び個人の皆様です。

三重県飲酒運転0をめざす啓発「リレーイベント」の開始宣言

子ども自転車三重県大会

二輪車三重県大会

みえ交通安全・環境フェスタ2017 (Miemu)

三重中央自動車学校による交通安全教室

新入学児童へのランドセルカバーの贈呈

ことうあんぜんワークブック
ことうあんぜんめいりえ

PR犬(盲導犬普及活動犬)との交通安全教室

会員の特典

当協会にご入会いただきました会員様には、次の特典があります。

- 交通事故入院見舞金の交付 ● 入会記念品の贈呈
- 「会員の店」において「会員の店」の特典(約1,000店舗)
(飲食店ほか各種店舗、ホテル、レジャー施設での割引特典)
- 優良運転者等の表彰(表彰は30年、40年、50年)
- 交通栄誉章(金・銀・銅)の受賞手続き

会員の店携帯サイトアドレス

<http://www.mie-ankyo-mise.com/pc/default.aspx>

この表示がある店舗が協賛店です。

【QRコード】

対店携帯機種であれば、ここからもアクセスできます。

「協賛店」募集中!各地区交通安全協会へお問い合わせください。

この広報紙は、(一社)日本自動車販売協会連合会三重支部・(一社)全国軽自動車協会連合会三重事務所のご協力を得て、当協会が作成・発行しています。



(一財)全日本交通安全協会の活動による交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマークです。

平成30年 年間重点目標等

◆ 年間スローガン

思いやる やさしい心で 走る三重
～気持ち良い 運転マナーの美し国～

◆ 年間重点目標

- 1 高齢者の交通事故防止
- 2 子どもの交通事故防止
- 3 横断歩道における歩行者優先の徹底
- 4 全ての乗員のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底
- 5 飲酒運転の根絶
- 6 自転車の安全利用の推進
- 7 夕暮れ時の早めのライト点灯の推進
- 8 反射材の普及促進
- 9 違法駐車等の追放
- 10 その他 特定して取り組む事項

◆ 各季運動等

- 【春の全国交通安全運動】 4月6日(金)～4月16日(日)
- 【夏の交通安全県民運動】 7月11日(水)～7月20日(金)
- 【秋の全国交通安全運動】 9月21日(金)～9月30日(日)
- 【年末の交通安全県民運動】 12月1日(土)～12月10日(月)
- 【暮れ時・すくすく早めのライト・オン運動】 10月1日(月)～12月31日(月)
- 【交通安全ゼロを目指す運動】 全国交通安全運動期間中に実施予定
- 【交通安全の日】 毎月11日
- 【高齢者の交通安全の日(65歳+)】 毎月21日
- 【自転車安全対策強化日(65歳+)】 毎月第一月曜日
- 【三重県飲酒運転0をめざす推進運動の日】 毎年12月1日

年頭の御挨拶



三重県警察本部 交通部長 西本 茂人

新年明けましておめでとうございます。一般財団法人三重県交通安全協会の皆様には、輝かしい新年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。旧年中は、警察行政各般にわたり、格別の御理解と御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、貴協会には、年間を通じた街頭啓発活動を始め、高齢者交通安全アドバイザーによる高齢者宅訪問指導や、飲酒運転根絶のためのハンドルキーパー運動の推進など、さまざまな活動を通じて、本県の交通事故抑止に多大な御尽力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年の交通情勢を振り返りますと、全国の交通事故死者数は2年連続で4千人を下回り、本県は、過去最少となる86人(前年対比-14人)に抑えることができました。

これも道路交通に携わる行政と関係機関・団体が地道に交通安全対策に取り組んできた効果の現れであり、その中で貴協会がこれまで長年にわたり重要な役割を果たされてきたことは間違いのないところであります。

ただ、年当初から本県の人身事故件数が前年を下回る中、6月及び7月は月間の死者数が10人を超えたほか、11月は5年1か月ぶりに月間の死者数が15人に達するなど、厳しい交通情勢の年でもありました。

交通死亡事故の特徴としては、依然として、死者数全体に占

める高齢者や交通弱者(歩行者・自転車利用者)の割合が高いほか、四輪乗車中死者の多くがシートベルト非着用であることや飲酒運転による死亡事故が増加したことが挙げられます。

このことから、基本的な交通ルール遵守の不徹底が浮き彫りとなったものであり、悲惨な交通死亡事故をさらに減少させていくには、まだまだ多くの課題が残っております。

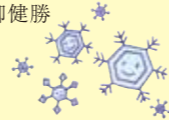
このような交通事故実態を踏まえ、三重県警察といたしましては、本年も、

- 高齢者の交通事故防止対策
- 交通弱者に対する反射材着用促進対策
- シートベルト等の着用促進対策
- 飲酒運転根絶対策

を重点的に推進し、交通死亡事故等の抑止を図ってまいります。しかしながら、交通事故のない安全で安心な地域社会を実現するためには、貴協会を始めとする関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、官民一体の総合的な交通事故抑止対策の推進が必要不可欠であります。

貴協会の皆様には、引き続き、地域における「交通安全活動のリーダー」として、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝を祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



北から南から ~各地区の活動をご紹介~



高齢者への交通事故防止啓発活動



大型店舗前での広報啓発活動



メッセージボードによる広報啓発活動



手作り大型紙芝居による交通安全教室



光らせナイト啓発活動



ドライブインでの飲酒運転根絶活動



鈴鹿高校での自転車反射材の取り付け活動



まもってくれてありがとう運動モデル校指定式



街頭啓発キャンペーン



ハンドルキーパー運動推進モデル店の指定

昨年中は、各地区の皆様にはいきいきと積極的に交通事故防止活動を展開していただき、ありがとうございました。本年も、悲惨な交通事故を1件でも少なくするため、御協力をお願いいたします。



平成29年度 三重県交通安全県民大会 開催

- 個人表彰
 - ・猪野 亜朗 (津 市)
 - 交通安全功労者
 - ・内田 秀 (四日市市) 以下13名
 - 優良運転者
 - ・伊藤 巖 (桑名市) 以下33名

◆ 平成29年度飲酒運転根絶に関する功労者表彰

- ◆ 個人表彰
 - ・加藤 亀久雄 (桑名市)
 - ・伊藤 聡 (孤野町)
 - ・鈴木 通 (鈴鹿市)
 - ・倉田 一 (龜山市)
 - ・林 信郎 (津 市)
 - ・中島 久子 (志摩市)
 - ・濱上 孝 (熊野市)

- ◆ 団体の部
 - ・四日市南地区交通安全協会
 - ・女性部人形劇メンバー
 - ・熊野地区交通安全協会女性部
 - ・ふれあい長寿津

◆ 三重県交通安全功労者表彰

- ◆ 個人表彰
 - ・大平 寿美子 (桑名市) 以下114名

◆ チャレンジ実行委員会委員長表彰

- ・(一財)三重県交通安全協会
- ・(一社)三重県自動車連盟三重支部
- ・(一社)三重県指定自動車教習所協会
- ・(一社)三重県バス協会
- ・(一社)三重県タクシー協会
- ・(一社)三重県トラック協会
- ・(一社)三重県トヨタ協会

◆ 交通安全功労者

- ・佐藤 好秀 (桑名市) 以下56名

◆ 交通安全活動功労団体

- ・有限会社 川崎研磨 (桑名市)
- ・株式会社 出口組 (いなべ市)

◆ (一財)全日本交通安全協会会長表彰

- ・交通安全賞章「緑十字銅章」



(敬称略)

第14回交通安全俳句川柳作品コンクール

最優秀賞

俳句

- 〔一般の部〕
 - ・ 輝時雨 スピード出すなど 母の声 (阪 久子)
 - ・ 黄色でも 止まる車が かつこい (橋本 悠佑)
- 〔学生の部〕
 - ・ お年寄り そんなにすぐに 渡れない (大屋 美穂)
- 〔学生の部〕
 - ・ とびださない かぞくとわたしの やくそくだ (松田 夢可)

(敬称略)



交通事故防止キャンペーン



大型店舗前での広報啓発活動



メッセージボードによる広報啓発活動



交通安全シルバークエスト



左右めはり運動キャンペーン



紀南高校正門前での自転車安全利用活動



「交通安全ミニフェスタ」の状況



自転車安全対策日における啓発活動